

# もっといいクルマづくりの中で 磨き続ける競争力

2019年8月2日

トヨタ自動車株式会社  
副社長

吉田 守孝

**【 変えてはいけないこと 】**

**「リアルなクルマづくり」において**

**競争力を磨き続けること**

# トヨタの『もっといいクルマづくり』

## < 特徴 >

- ・グローバル1,000万台の生産・販売
- ・フルラインアップ(乗用・商用・環境車・スポーツ)

⇒ お客様第一、競争力を磨き続ける

### TNGA

数をまとめて賢く共用化  
(1,000万台の規模を活かす)



基本部分は全体最適

### カンパニー制

お客様目線でこだわるクルマづくり

ZEV

新興国小型車

コンパクト

ミッドサイズ

コマースヤル

レクサス

ガズーレーシング

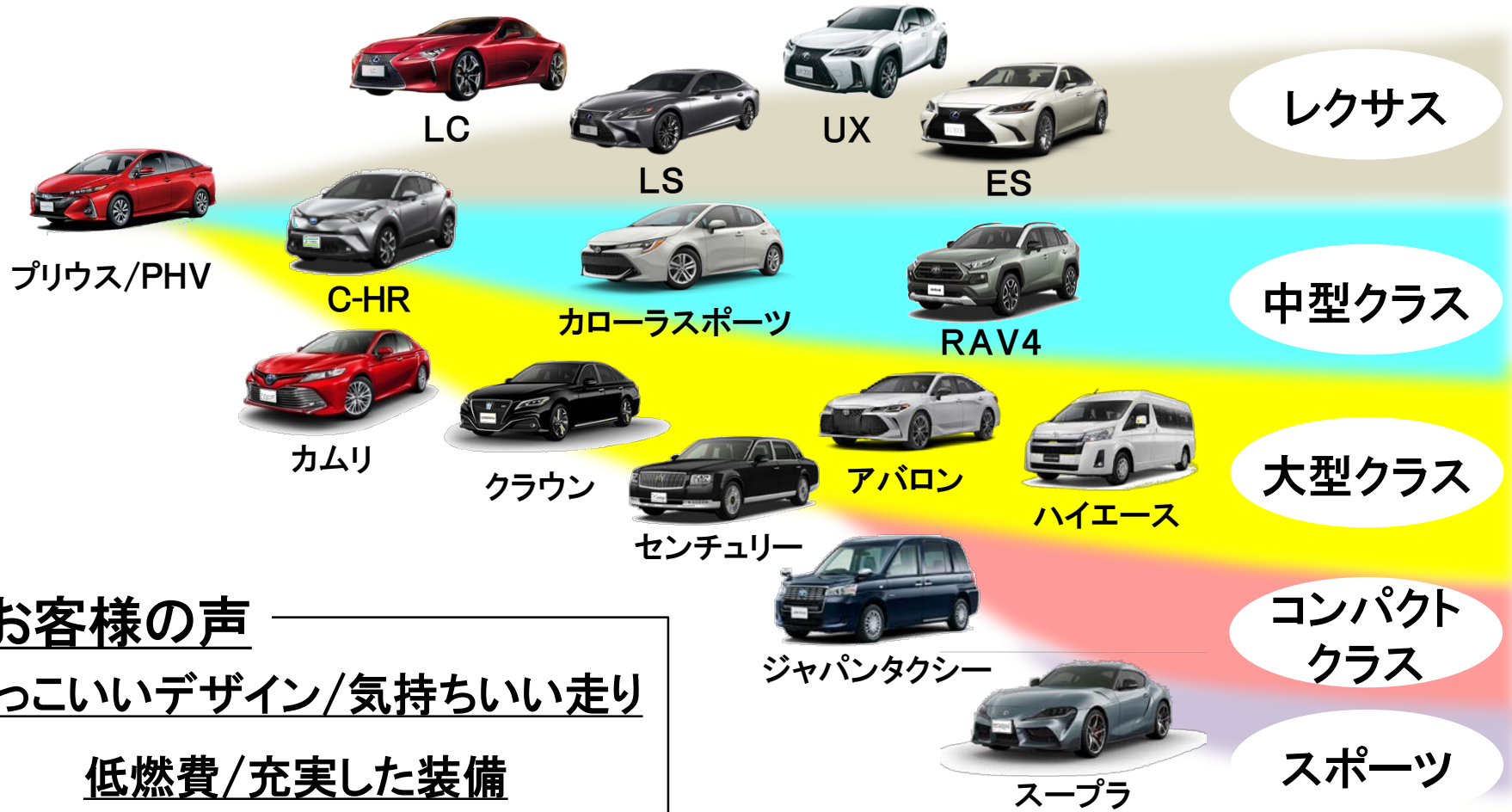
クルマ開発センター

# TNGAとカンパニー制の成果

## 15モデル 300万台(全体の3割)を切替

‘15

‘20



**お客様の声**

かっこいいデザイン/気持ちいい走り

低燃費/充実した装備

**RAV4**  
**好きにまみれる!**



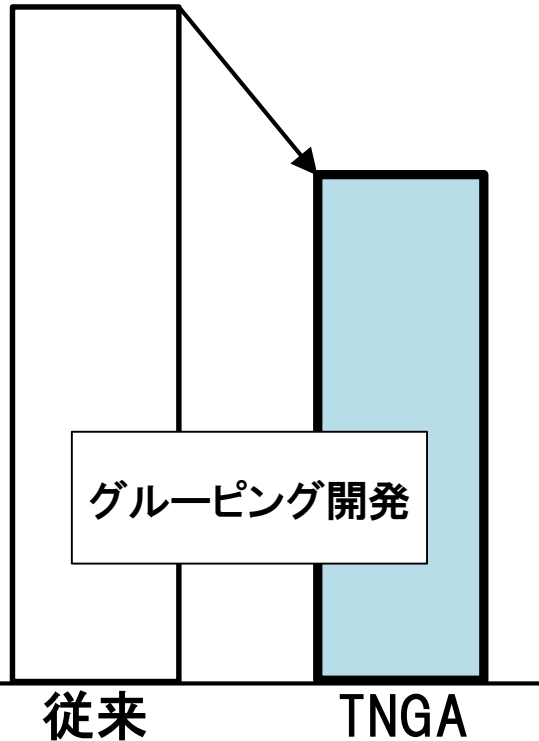
# TNGA導入による効果

確実に競争力は上がり、商品も良くなった

但し車両価格は不十分 ⇒ TPS・原価低減の推進

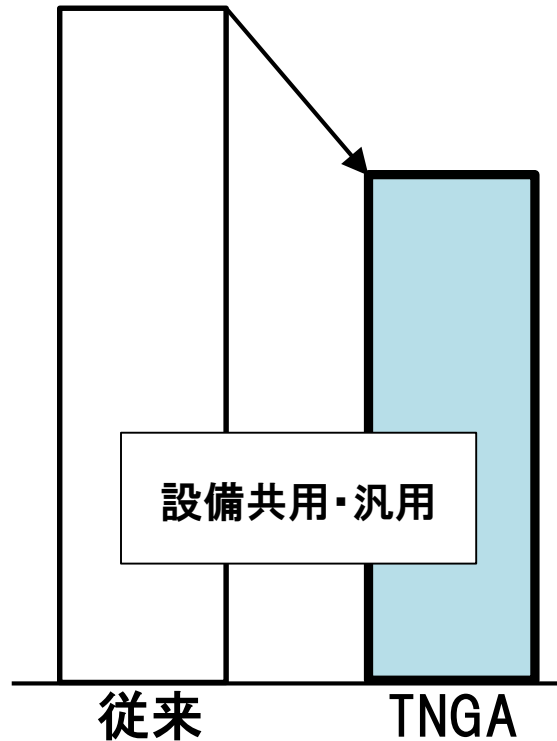
〈開発工数〉

▲約25%



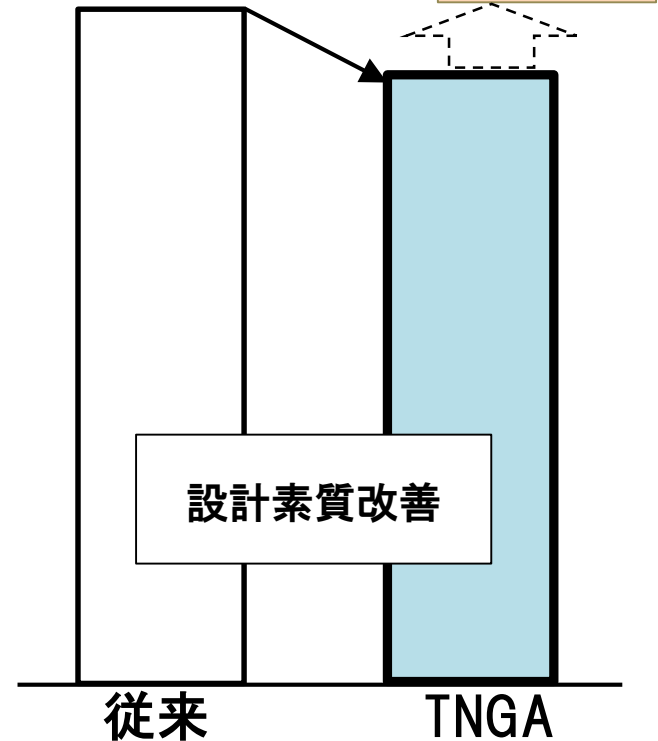
〈設備投資〉

▲約25%



〈車両原価〉

▲約10%



# クルマづくりを取り巻く環境

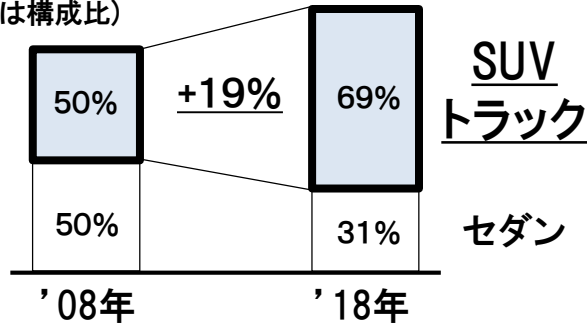
## ここ数年取り巻く環境は厳しさを増す

### ⇒ 競争力の磨きあげを更に加速させる必要あり

### お客様嗜好の変化

＜米国市場の車種構成比＞

(比率は構成比)



＜マルチメディアの進化＞



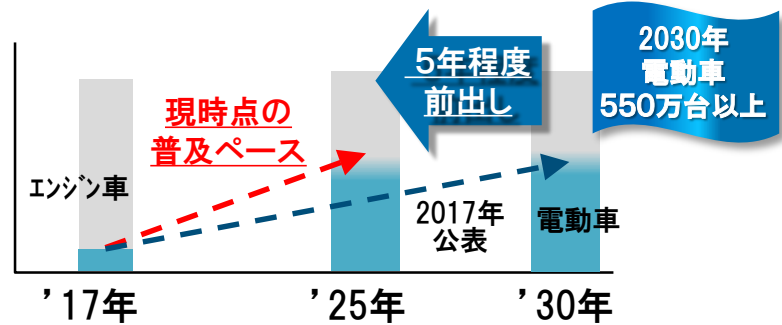
【大型ディスプレイ】



【スマホ連携】

### 環境規制の強化

＜トヨタ電動車投入のペース＞



### CASEの進展



# 今後の取り組み(更なる競争力強化)

- ・各地域に寄り添った魅力あるクルマづくりの加速
- ・モビリティカンパニーへの変革を下支え

## カンパニー制の強化

- ・一気通貫/スピードアップ  
(クルマ開発センター)
- ・お客様目線での差別化

## TNGAの進化

- ・地域/車種毎の賢い共通化
- ・フレキシブルな生産体制

## 仲間づくり

- ・ホーム&アウェイ / アライアンス
- ・競争と協調 (安全/環境)

CASE見据えたりソーセスシフト(ヒト・モノ・カネ)&人財育成

もっといいクルマづくりを通じ  
魅力的・良品廉価なクルマをお届け

今年9月、12代目カローラセダン、ワゴンをフルモデルチェンジ



21年末までに 新モデルを18車種投入

今後もトヨタにご期待ください